

令和3年3月19日

飯田市

産業経済部長 遠山 昌和 様

飯田市議会 産業建設委員会  
委員長 熊谷 泰人

## 飯田市議会産業建設委員会からの提案について

飯田市議会産業建設委員会では、委員会で定めた調査研究課題への取り組みを踏まえ、より良い飯田市となるよう以下、提案をします。

### 記

#### 1 提案事項

別添の『所管事務調査「遠山郷の指定管理施設の運営状況について」のさらなる調査研究と政策提案の検証からの提案』のとおり

#### 2 提案委員会及び委員

飯田市議会 産業建設委員会

委員長 熊谷 泰人、副委員長 後藤 荘一

委員 清水 優一郎、小林 真一、木下 徳康、木下 克志、井坪 隆

## 所管事務調査「遠山郷の指定管理施設の運営状況について」の さらなる調査研究と政策提案の検証からの提案

飯田市議会 産業建設委員会

### 〔前文〕

市の指定管理施設である遠山郷観光施設等は、三遠南信道、リニアの開通を見据えたとき、魅力あふれる地域の観光振興に寄与し、もって地域振興につながるべく、健全なる経営のもとに誘客を図ることを目指す必要があることから、その運営・経営状況を適切に監視、評価していくことは議会としての責務であり、産業建設委員会における所管事務調査等を基に、令和2年6月22日付けで飯田市（産業経済部）に対して提案を行い、その適時的確な執行を求めたところである。

令和2年7月には豪雨により遠山川の「中橋」が損壊するなど遠山地域は各所で災害が発生し、復旧復興が必要となるとともに、コロナ禍にあって感染拡大防止のために旅行など人の移動や大勢での活動が制限されるなど、観光振興や地域振興を進めるには厳しい情勢が続いている。

そのような情勢にあって、飯田市と浜松市を結ぶ三遠南信自動車道青崩峠道路のトンネル工事は進められており、開通を見据えた遠山郷の地域づくりは急務である。

遠山郷の地域づくりにおいて、上村しらびそ高原施設（しらびそ高原天の川）、南信濃温泉交流施設「かぐらの湯」は、その拠点であり、その運営は観光や地域振興と一体的なものである。いずれも市有施設であり、その運営において、市の所管部署は、指定管理者や地域と緊密な連携を取りながら進めるよう、以下のとおり提案する。

また、リニア・三遠南信時代を見据え、観光振興のあり方や、遠山郷以外の、例えば、天龍峡温泉交流館「ご湯っくり」といった市有観光施設の管理運営などについて、事業者や地域の皆さんとともに考えるなかで、市の役割を明確にし、その責任を全うされるよう、以下のとおり提案する。

### 〔提案内容〕

- 1 令和2年6月22日付けで飯田市議会産業建設委員会が飯田市産業経済部に対して行った提案について、適時的確に執行されること。
- 2 三遠南信自動車道の開通を見据えた遠山郷の地域づくりのため、特に、観光振興におけるビジョンを地域の皆さんと一緒に策定し、推進されること。
- 3 リニア・三遠南信時代を見据え、地域の皆さんの意欲や活力を大切にした観光振興、地域経済に資する産業として観光、拠点施設を生かした地域振興など、総合的に観光を、事業者や地域の皆さんとともに考え、取り組みを進めること。

- 4 遠山郷や天龍峡、その他の地域における市有の観光施設の管理運営においては、健全な経営が当然として求められる。事業者にとって経営を成り立たせることは第一義であり、コロナウイルス感染拡大対策・対応などの外的要因、資金や人材の確保など内的な要因等々により厳しい状況と推察する。社会変動や環境変化に対応し、健全で安定的な市有施設の管理運営を目指して、市は、指定管理者や地域と緊密な連携、コミュニケーションを取りながら進められること。
- 5 以上のことについて、その状況等の詳細を、当委員会へ報告するとともに、地域や市民に対する適時適切な公表すること。

※所管事務調査については、別添の「所管事務報告書」を参照されたい。